

<ニコニコ・財団・米山委員会>

	今回		累計	
ニコニコ	24件	24,000円	693件	751,000円
財団	0件	0円	24件	220,000円
ベネファクター	0件	0円	2件	180,000円
米山	0件	0円	22件	295,000円

本日のプログラム

<招聘卓話> 麻生保健所長 木下節子様
小児科専門医であり、リハビリテーション認定医。長崎心身障害センターの副センター長を経て、6年前に川崎市に就職。現在は麻生保健所長。

本日は小児科という自分の立場から見た子どもの成長のお話をさせていただきます。

子どもは生まれてから4週間は新生児といいます。だいたい1週間くらいで目が開き、20日目くらいになると目の開いている時間も最初に比べて長くなっています。1ヶ月で目鼻立ちがしっかりとし、2ヶ月でオモチャで遊び始め、3ヶ月くらいで首が座ります。赤ちゃんは寝たきりで動かない状態ばかりのように見えますが、最近の医学では生まれたばかりの赤ちゃんでも自動的に色々なことができる事がわかっています。

「ATNR/原始歩行」は、赤ちゃんの顔が向いた方向の側の腕がまっすぐ伸び、反対の腕は曲がります。そして歩く動作も自動的にします。

「Gaspding/把握反射」は、赤ちゃんの手や足がぎゅっとなる、お母さんの指を握る仕草のことです。

「Rooting,Sucking/探索と吸啜反射」は、赤ちゃんの口元をたたくとそれに反応して吸う、栄養を取り込むために備わった力です。

「視先/身体認知」は、自分の手を見てからだと認識し、大好きな人を見ることから、社会が広がり、世界が広がります。

寝ている時だけ笑う新生児微笑。また顔面模倣という、神経学的に非常に大変な作業もします。

人はいつから、どう発達しているのかというと、霊長類の中のDNAにあらかじめプログラミングされ発達してきた過程で生まれてきます。人間とチンパンジーのDNAの違いは2.7%で、シマウマと馬の3%の違いよりも近いのです。人間は猿から進化したといわれていますが、猿ではなく、霊長類、ヒト科、

ヒト種の中で進化してきたのです。

チンパンジーの親子の様子などから見ても、Gaspdingは、ふさふさの毛を握って自分が落ちないようにするという、今でも人間に残っている反射の遺伝子です。不思議なくらい、私たち人間のDNAにプログラミングされた、発達した過程を認識できます。

チンパンジーと人間の2.7%の違いは何かというと、チンパンジーは母親だけが子育てをしますが、人間は色々な人が子育てに携わり社会性が広がっていく、そして人間の赤ちゃんは守られて育つ、その社会性の違いだと思います。ありがとうございました。

